

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 保育の身体表現 I	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 近藤 鈴	当該科目に関する実務経験 保育士
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の内容「表現」を基に、保育における身体表現活動の意義を理解する。 ・ 子どもの発達、運動機能と身体表現活動の結びつきを理解する。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受動的学習ではなく、ワークショップ、ディベートなどを取り入れ、学生自身が主体性をもって学ぶことができるようにする。 <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもにとっての身体表現の意味や保育における身体表現活動の意義を理解する。 ・ 身体表現 I での学びを身体表現 II への学習への意欲へとつなげる。 			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身体表現とは何か 2 豊かな身体表現力を育てる①豊かな身体表現とは 3 豊かな身体表現力を育てる②「豊かな身体表現」の概念 4 豊かな身体表現力を育てる③身体表現を支えるもの 5 豊かな身体表現力を育てる④双方向性こそが身体表現力を育てる 6 身体表現の考え方①幼稚園教育要領・保育所保育指針の考え方 7 身体表現の考え方②発達過程で見られる身体表現の様子 8 保育者と身体表現①身体表現の基礎力を高める 9 保育者と身体表現②保育者が指導する上で重要視していること 10 保育者と身体表現③保育者の抱える身体表現の指導上の悩み 11 子ども達と身体表現① 0～1 歳児の身体表現 12 子ども達と身体表現② 2～3 歳児の身体表現 13 子ども達と身体表現③ 4～5 歳児の身体表現 14 子ども達と身体表現⑤異年齢の子どものかかわりから 15 期末試験 			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>『保育表現技術』豊かに育つ・育てる身体表現 (ミネルヴァ書房)</p>			
<p>[成績評価の方法と基準]</p> <p>教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考查点 (75%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考查を実施する。 ・ 平常点 (25%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。 ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。 			